

## 校則をどの程度厳しくすべきか

(趣旨)

校則は、児童生徒が健全な学校生活を営み、より良く成長・発達していくために必要不可欠のものであると言われてきました。しかし、最近では、生徒の人格を軽視する過度に厳しい校則の問題がクローズアップされ、一部の学校では校則を緩めたり、その一部を廃止したりするところも見られるようになりました。

校則が緩められれば、生徒の自主性や主体性が生かされ、また個性も尊重できると考えられる一方で、皆が勝手なことを行い、学校の秩序が乱れてしまい、団結力も薄れてしまうことも心配されます。学校や生徒にとって校則が果たしてきた正負の影響を踏まえて、学校における校則が今後はどのようにあるべきか考えてみましょう。